

新英文機関誌 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports の創刊

鈴木 道雄 Michio Suzuki
日本精神神経学会理事

日本精神神経学会の新しい英文機関誌である Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports (PCN Reports) が創刊されました。本学会は、言うまでもなく、本誌（精神神経学雑誌）と英文機関誌である Psychiatry and Clinical Neurosciences (PCN) をもっており、PCN Reports はそれらに続く第三の機関誌となります。

PCN Reports が創刊された経緯を簡単に説明します。PCN は 1933 年創刊の歴史ある精神医学専門誌であり、精神医学および臨床神経科学に関する優れた論文を世界に発信しています。PCN 編集委員会委員や関係者の不断努力、本学会会員を含む世界中の査読者の無償の貢献などにより、PCN の世界的な評価は年々高まり、質の高い論文が世界中から投稿されるようになりました。2020 年の Impact Factor (IF) は 5.188 に達しています。PCN の国際的な影響力が増す一方で、投稿された論文の採択率は非常に低い水準となり、会員による優れた論文が投稿されても掲載できないことがしばしば生じるようになったことから、より投稿しやすい英文機関誌の必要性が高まりました。そこで、「PCN 姉妹誌に関する検討班」による検討を重ねた結果、このたび PCN Reports として創刊することとなりました。

PCN Reports の最大の特徴は、オープンアクセス（自由に無料で閲覧できる）の完全オンライン（冊子体をもたない）ジャーナルであることです。学術雑誌・論文のオープンアクセス化は世界規模で急速に進んでいます。オープンアクセスのオンラインジャーナルでは、冊子体をもたないことにより、掲載できる論文数が制約を受けず、受理された論文は随時遅滞なく公表されます。著者にとっては、より迅速に公表され、より広い読者の手に届き、より多く閲覧されることに加え、より多く引用されることが期待され

ます。読者にとっては、購読料を支払わずに自由に閲覧できることは最大の魅力であり、経済的に発展途上の地域における読者も含め、大きな恩恵を受けることとなります。一方で、難点はやはり論文掲載料（article publication charge: APC）を、多くの場合、著者が負担する必要があることでしょう。

PCN Reports の使命は、PCN の companion journal として、世界における質の高い精神医学研究の成果が公表される場を提供するとともに、本学会から優れた研究成果を世界に向けて発信し、精神医学、精神医療の発展に寄与することです。PCN Reports では、精神医学全般および臨床神経科学における、科学的に優れた原著論文や総説をなるべく多く掲載していく方針です。いわゆるパイロット調査や実現可能性調査（feasibility study）、計画段階や進行中の研究のプロトコル論文も掲載の対象として考慮します。また、英文による発表機会の少ない精神病理学に関する論文や症例報告も積極的に受け付けます。PubMed Central (PMC) や Emerging Sources Citation Index (ESCI) への掲載を早期に実現し、数年後には IF を取得することをめざします。

新たに船出する PCN Reports を学会全体で盛り立てていくという考えの下に、60 名を超える会員に海外の研究者を加えた強力な編集委員会を組織しました。学会員が第一著者または責任著者である場合には、創刊から 2 年間程度、APC を学会が負担することとしています。会員諸氏には、著者として、読者として、また査読者として、PCN Reports を支え、育てていただきたいと思ひます。

*PCN Reports のウェブサイト：

<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/27692558>